

ともに挑む。ともに実る。



みずほフィナンシャルグループ



2024年度

第3四半期 決算の概要

2025年2月3日

## 〈みずほ〉とアート

〈みずほ〉は、東京藝術大学と連携し、「アートでもっと元気に」、「アートをもっと身边に」、「アートの力で変わりたい」をコンセプトに掲げ、ジェンダーフリーやウェルビーイングの実現、イノベーション創出などの社会的な課題の解決に貢献するとともに、経済だけでなくアートも文化も持続性ある豊かな社会を共創していくことを目指しています。

今回、東京藝術大学デザイン科の学生の方に、〈みずほ〉のパーサス「ともに挑む。ともに実る。」から得た着想を具現化していただきました。

株主・投資家の皆さま向けの決算資料の表紙にアート作品を掲載するのは、2023年11月を初の試みとし、今回が6作品目です。



### 作 者 梁 雨嵐（リョウ ウラン）

東京藝術大学 デザイン科 修士2年

### 作品名 「上善は水の如し」

#### 「上善は水の如し」

この言葉は老子の「道徳経」より、最高の善は水のようなものである。水は万物に利益を与えるながら争わず、器に応じて形を変え、低い位置に身を置く。この水の性質が最高の善を象徴する。

この特性を基に、水の流動性や包容力を〈みずほ〉に例えた。資金や情報が円滑に流れることで経済は活力を保ち、柔軟に変化する市場に適応し、社会を豊かにする。

稻穂と水をモチーフにし、陶板に青い釉薬と螺旋状の稻穂を用いて、活気と絶え間ない循環を表現した。



# 決算の概要

(億円)	24/3Q累計	前年同期比
1 連結粗利益 <sup>*1</sup>	① 23,069	+2,889
2 経費 <sup>*2</sup>	② △13,706	△1,795
3 連結業務純益 <sup>*1</sup>	③ 9,642	+1,265
4 うち顧客部門	6,481	+582 <sup>*4</sup>
5 うち市場部門	2,340	+201 <sup>*4</sup>
6 与信関係費用	④ 385	+524
7 株式等関係損益 <sup>*3</sup>	1,144	+546
8 経常利益	11,265	+2,436
9 特別損益	406 <sup>*5</sup>	+20
10 親会社株主純利益	⑤ 8,553	+2,130
(ご参考)		
11 連結ROE <sup>*6</sup> (直近12カ月)	⑥ 9.5%	+2.1%
12 経費率 (2÷1)	59.4%	+0.3%

## ① 連結粗利益 :

堅調な非金利収益に加え、日銀政策金利引き上げ効果も発現。一部有価証券ポートフォリオの健全化を実施も、大幅増益

## ② 経費 :

円安・インフレ等の環境要因はあるも、成長領域やガバナンス等の経営基盤への資源投下や適切な経費コントロールを継続

## ③ 連結業務純益 :

トップラインの拡大を主因に前年同期比+15%の増益。業績見通し11,700億円に対する進捗率は82%と堅調

## ④ 与信関係費用 :

費用発生が総じて低位で推移したことに加え、国内外の一部個社で戻入益を計上

## ⑤ 親会社株主純利益 :

連結業務純益の拡大を主因に前年同期比+33%の増益。業績見通し8,200億円に対して104%の着地

## ⑥ 連結ROE :

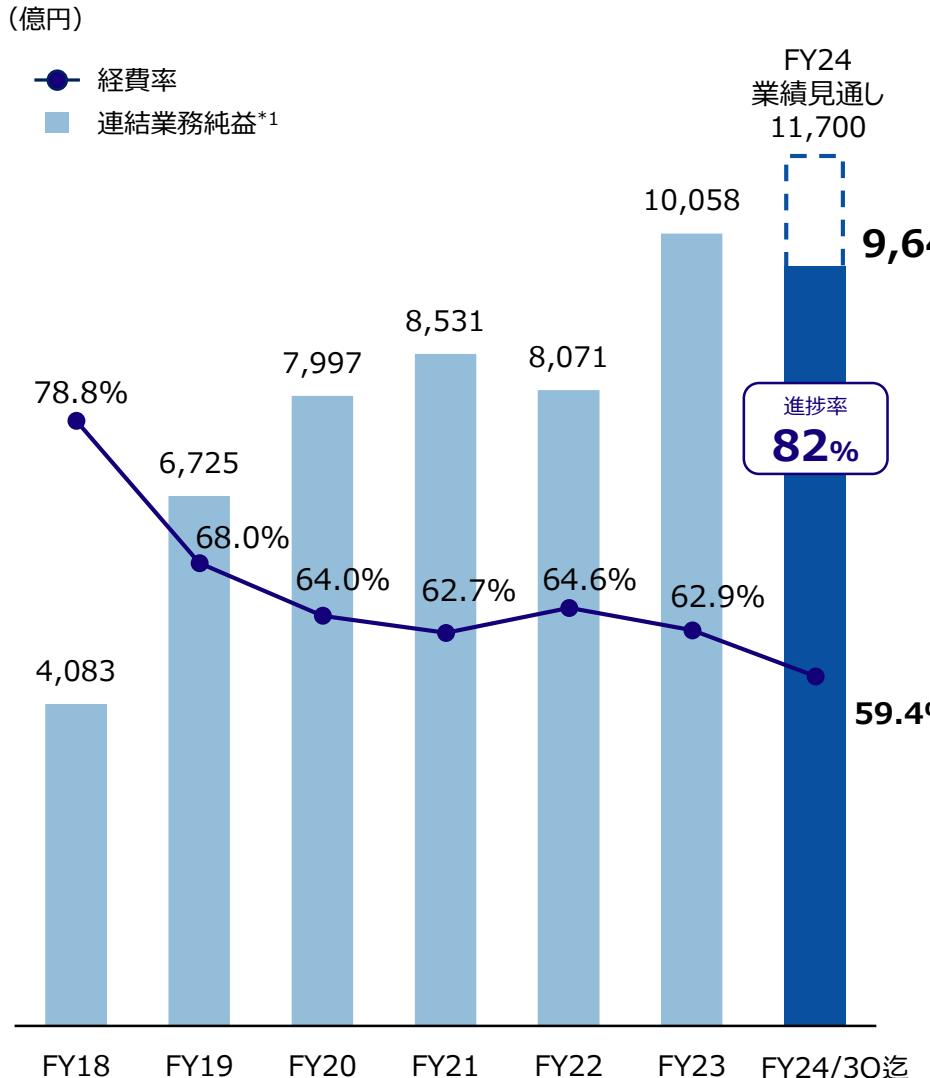
利益成長等により前年同期比+2.1%pt良化。着実に資本効率を向上

\*1: ETF関係損益等413億円（前年同期比+215億円）を含む \*2: 臨時処理分等を除く \*3: ETF関係損益等を除く \*4: 前年同期の計数をFY24管理会計ルールに組み替えて算出

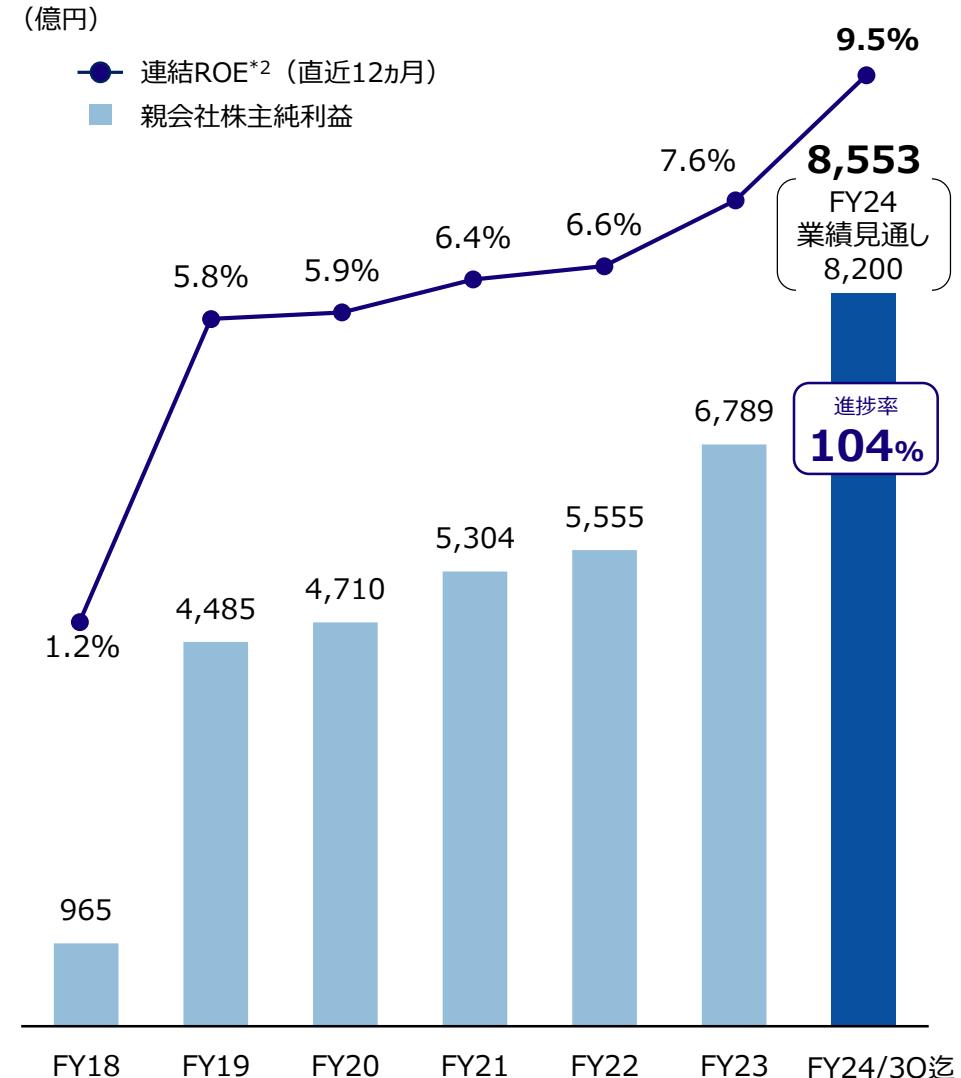
\*5: 退職給付信託返還益47億円（前年同期比△320億円）を含む \*6: その他有価証券評価差額金を除く、速報値

# 業績推移

## 連結業務純益・経費率



## 親会社株主純利益・連結ROE



\*1: ETF関係損益等を含む \*2: その他有価証券評価差額金を除く、速報値

# カンパニー別業績

(億円)

グループ合算、速報値

	業務粗利益		経費		業務純益		四半期純利益	
	24/3Q 累計	前年同期比 <sup>*1</sup>						
顧客部門	16,691	+1,652	△10,463	△1,220	6,481	+582	6,051	+1,509
RBC	5,876	+559	△5,137	△458	797	+106	954	+514
CIBC	4,378	+416	△1,742	△167	2,712	+271	3,051	+1,018
GCIBC	5,999	+653	△3,302	△578	2,855	+49	2,005	△168
AMC	439	+25	△282	△16	117	+156	42	+146
市場部門 (GMC) <sup>*2</sup>	4,937	+516	△2,596	△316	2,340	+201	1,631	+132
バンキング <sup>*2</sup>	1,446	△69	△407	△66	1,039	△135		
セールス & トレーディング	3,490	+586	△2,189	△250	1,301	+335		

\*1: 前年同期の計数をFY24管理会計ルールに組み替えて算出 \*2: 2行合算のETF関係損益を含む

# B/Sの概要\*1 (24年12月末)

**総資産 285兆円 (+6.7)**

貸出金

**97 (+5.0)**

有価証券

**36 (△1.9)**

日本国債	9.5 (△1.9)
外国債券	16.3 (+0.5)
日本株式	3.7 (△0.0)

その他

**151 (+3.5)**

現金・預け金	64.7 (△8.2)
うち日銀預け金*2	47.1 (△10.3)

預金・譲渡性預金

**172 (+0.9)**

RBC個人*3	47.9 (+0.8)
RBC法人*3	32.4 (△0.2)
CIBC *3	40.2 (△6.6)
GCIBC *3	27.2 (△0.3)

その他

**102 (+5.5)**

純資産

**10 (+0.2)**

## うち外貨建て\*3

- 貸出金を顧客預金と社債・通貨スワップ等の安定的な中長期調達でカバー

**5,205億ドル (+44)**

貸出金\*4

**2,669 (+158)**

顧客預金\*4

**1,997 (+5)**

国内+海外日系	約50%
海外非日系	約50%
米州	約20%
EMEA	約10%
APAC	約20%

中長期調達\*6

**915 (△140)**

有価証券

**999 (△14)**

市場性調達\*7

**1,490 (△81)**

その他\*5

**1,536 (△100)**

CD・CP

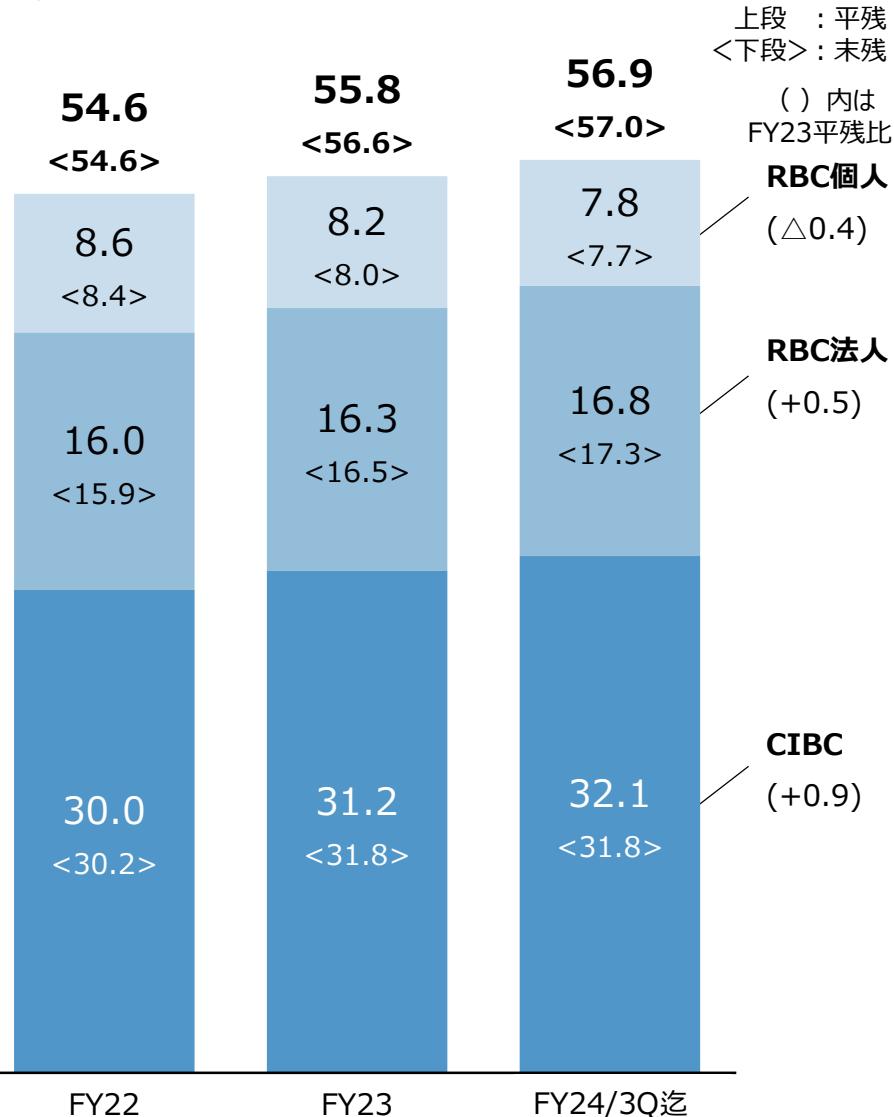
**802 (+260)**

\*1: () は24/3末対比 \*2: 2行合算 \*3: BK+TB、FY24管理会計ルール \*4: 中国・米国・オランダ・インドネシア・マレーシア・ロシア・ブラジル・メキシコ現地法人、国内を含む \*5: 中銀預け金等

\*6: 社債、通貨スワップ等 \*7: レポ、インターバンク、中銀預金等

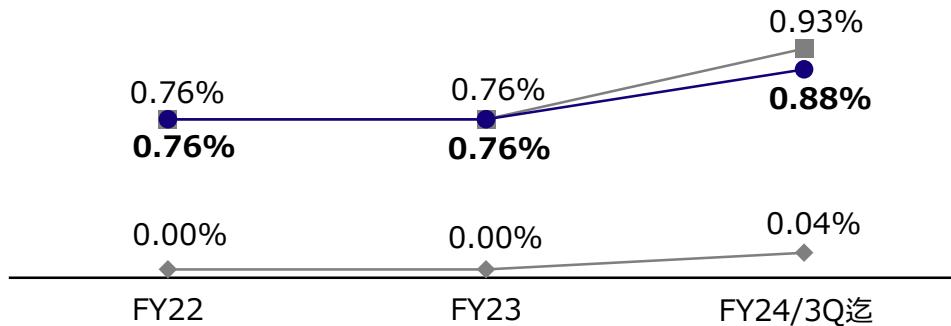
# 国内貸出金\*1

(兆円)



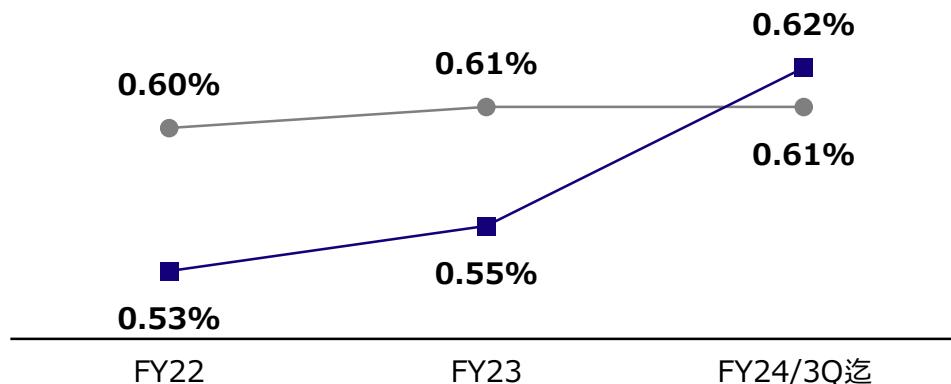
## 預貸金利回差\*2

- 貸出金利回…a
- ◆ 預金利回…b
- 預貸金利回差…a-b



## 貸出金スプレッド

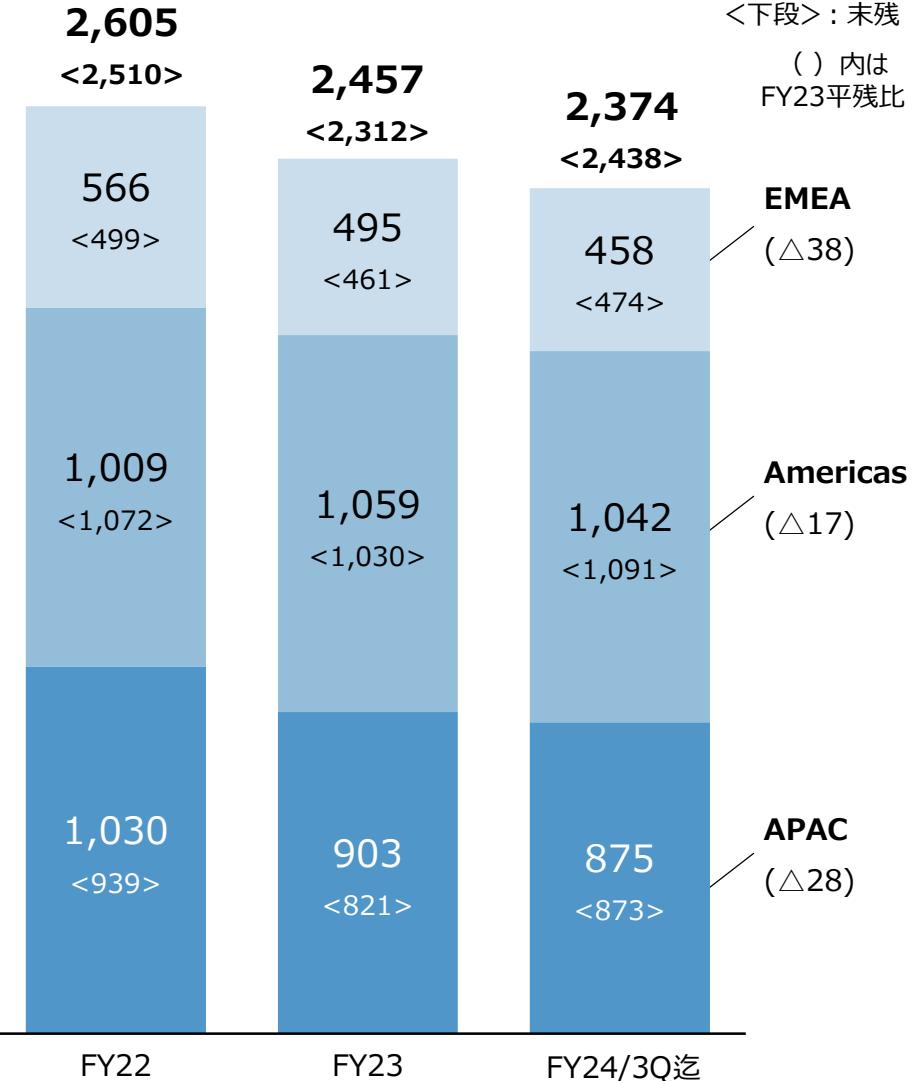
- RBC法人
- CIBC



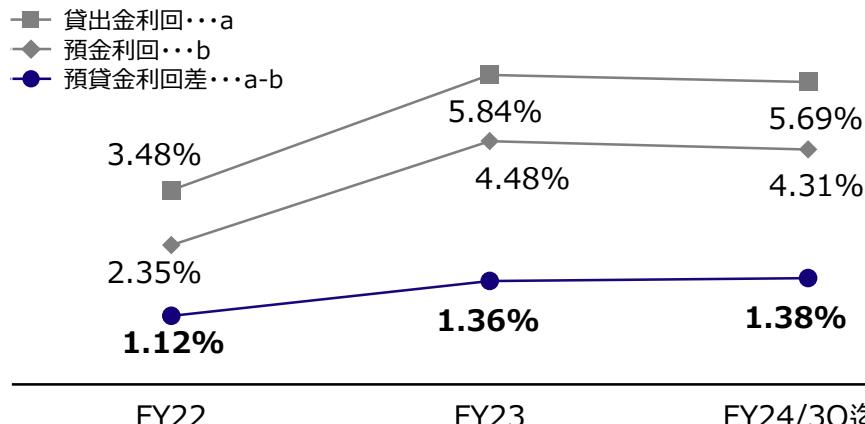
\*1: BK+TB、FY24管理会計ルール（FY22～FY23は遡及修正）、グループ内貸出金・政府等向け貸出金を除く \*2: 2行合算、金融機関（FGを含む）・政府等向け貸出金を除く、国内業務部門

# 海外貸出金\*1

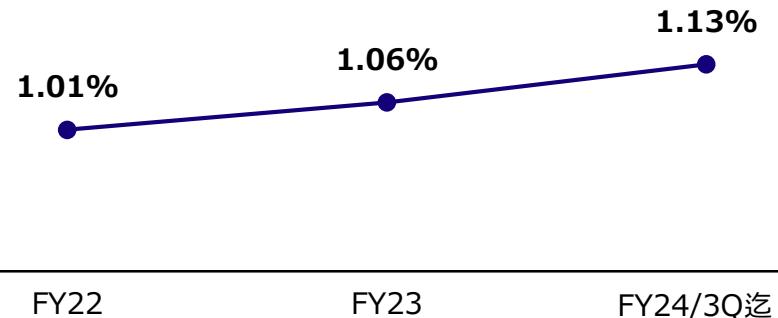
(億ドル)



## 預貸金利回差\*2



## 貸出金スプレッド

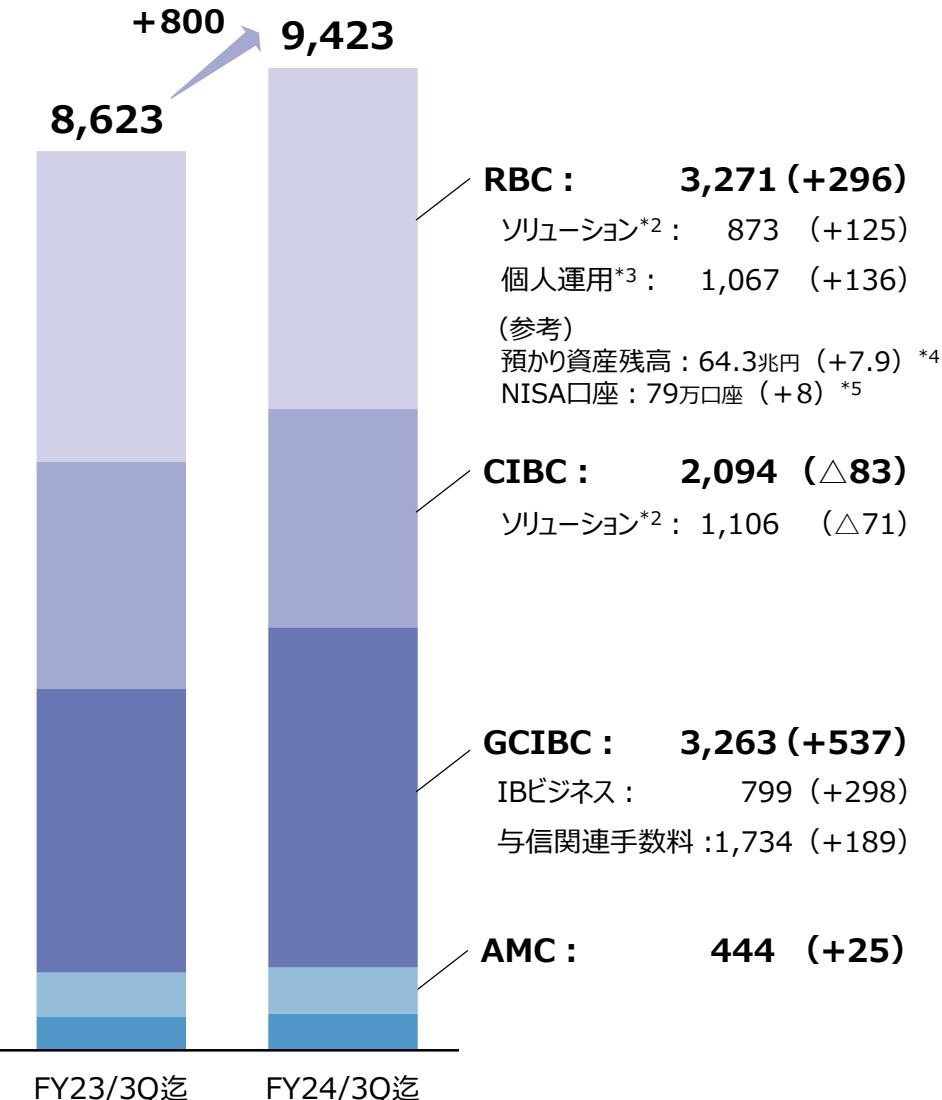


\*1: BK（含む中国、米国、オランダ、インドネシア、マレーシア、ロシア、ブラジル、メキシコ現地法人）、FY24管理会計ルール（FY22～23は遡及修正）、グループ内貸出金を除く \*2: BK、国際業務部門

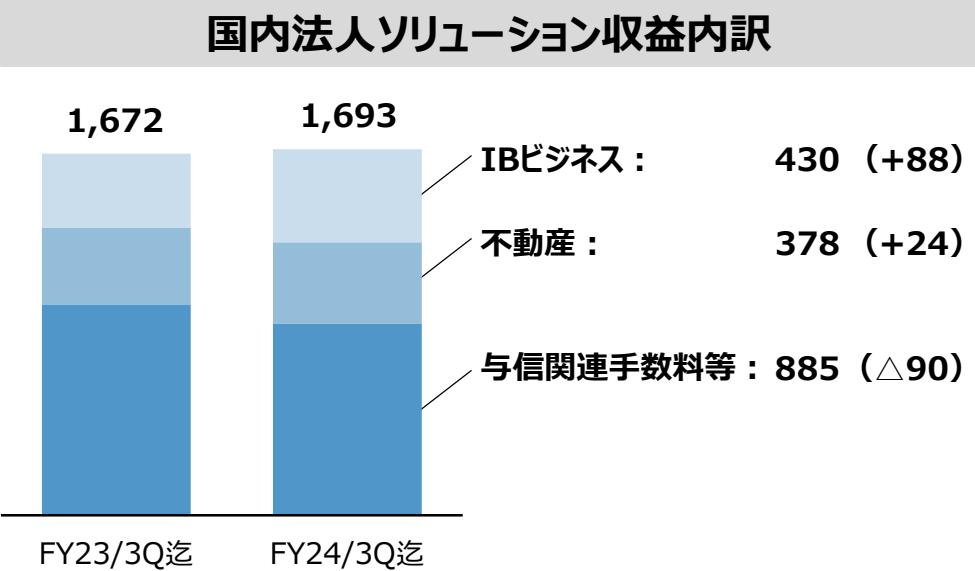
# 非金利ビジネス\*1

(億円)

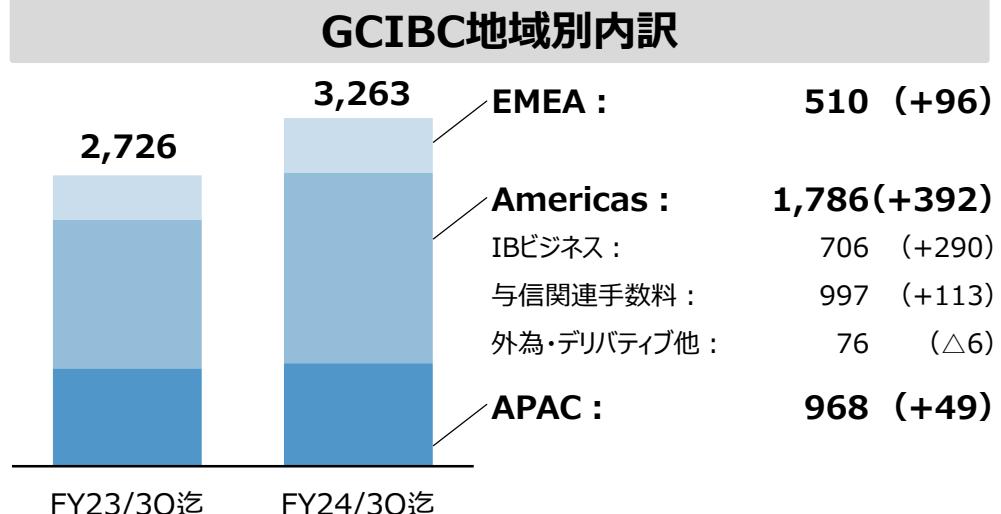
() 内は前年同期比



## 国内法人ソリューション収益内訳



## GCIBC地域別内訳



\*1: FY24管理会計ルール、過年度計数を遡及修正。変更前の計数は、FY23/3Q: 8,356億円 \*2: 投資銀行業務関連手数料、不動産仲介手数料を含む \*3: BK投信・保険+SC個人セグメント、PBセグメント

\*4: SCUテール事業法人部門と2行合算（保険、投資信託（除くMMF）、外貨預金）の合計 \*5: BK+SC

# アセットクオリティ

## 与信関係費用

連結

(億円)

△1,063

フォワード・  
ルッキング  
(FL)対応分

△893

△790

費用  
↓  
戻入益  
↓

△1,329

+266

RBC : +214  
CIBC : +131  
GCIBC : +53

△4(FL対応分)

+389

**+385**

FY22

FY23

FY24/3Q迄

**FL引当金  
(未残)**

423

153

154

## 銀行法及び再生法に基づく債権\*

連結

(兆円)

● 不良債権比率

破産更生債権及び  
これらに準ずる債権

危険債権

要管理債権

1.25

1.07

1.17%

1.10

1.05%

0.98%

23/3末

24/3末

24/12末

\* 信託勘定を含む

# 有価証券ポートフォリオ\*1

## その他有価証券

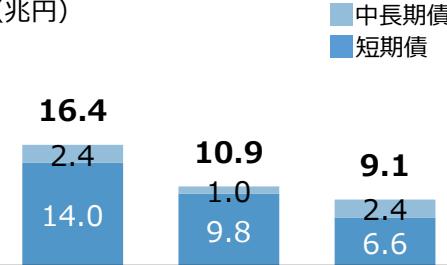
連結

(億円)

	取得原価		評価差額*2	
	24/12末	24/3末比	24/12末	24/3末比
1 合計	290,842	△23,204	11,619	△2,935
2 株式	8,455	△713	19,244	△2,087
3 債券	122,884	△21,064	△607	△262
4 うち国債	91,312	△18,368	△64	△66
5 外国債券	131,167	+1,117	△5,132	△190
6 うち米国債*3	80,948	△4,781	△4,771	△160
7 その他	28,334	△2,542	△1,884	△394
8 ベアファンド*4	2,385	△1,079	△900	+469
9 投資信託等	25,949	△1,464	△983	△863

### 日本国債残高\*5

(兆円)



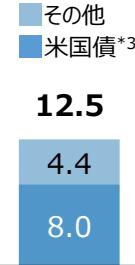
23/3末 24/3末 24/12末

〈参考〉平均残存期間（年） \*6

0.7 0.3 0.9 1.1 2.4 0.9

### 外国債券残高\*5

(兆円)



23/3末 24/3末 24/12末

1.1 2.4 0.9

## 株式残高

連結

(億円)

19,629

残高（取得原価）

23/3末～24/12末

売却のみ\*7  
1,584億円

+応諾額  
2,191億円

9,973

8,455

中期経営計画売却目標  
△3,000億円

15/3末 残高(取得原価)/純資産\*8

24.3%

残高(時価)/純資産

42.0%

〈参考〉みなし保有株式の売却\*9

23/3末

11.5%

27.3%

26.5%

24/12末

8.5%

20.4%

20%未満

26/3末

10%未満

23/3末株価ベース想定

20%未満

BK+TB、管理会計

15/3末-23/3末

6,724

23/3末-24/12末

2,111

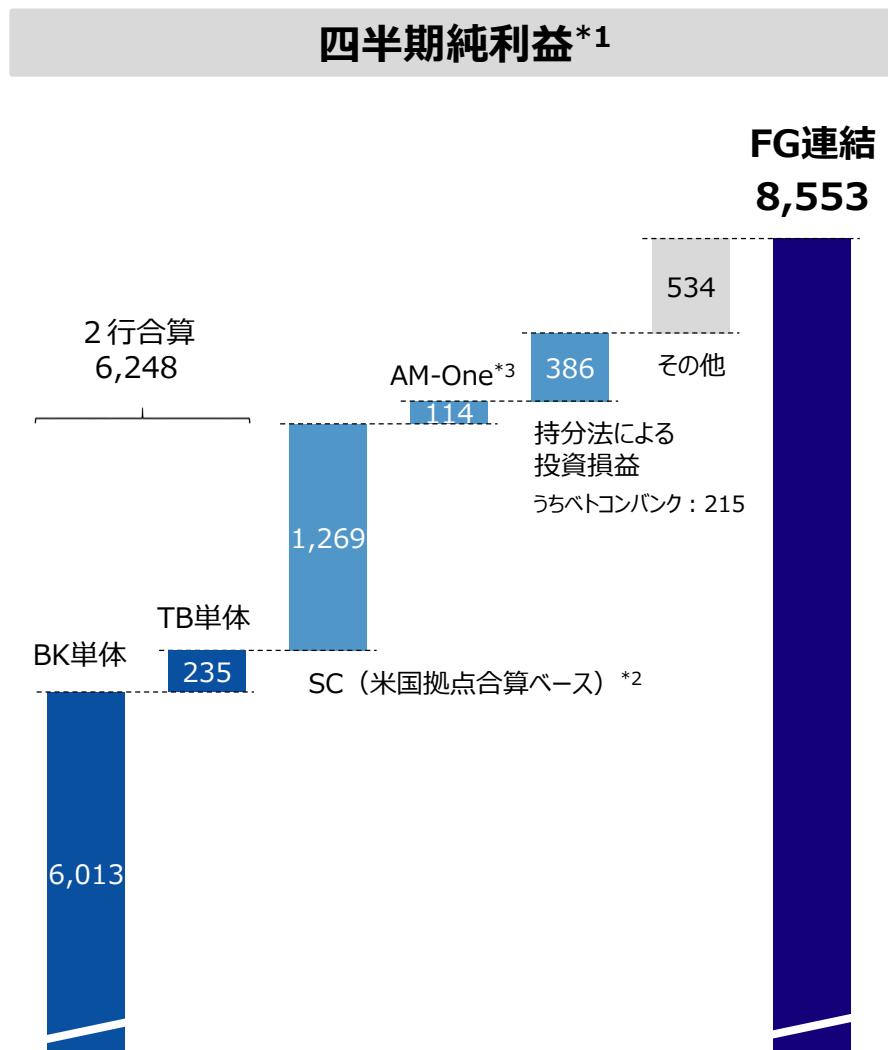
\*1: その他有価証券で時価のあるもの、組合出資分を除く \*2: 純資産直入処理対象分。繰延ヘッジ会計適用分のネット繰延損益を勘査 \*3: 米国債、GSE債 \*4: 株式含み益の固定化を目的とするヘッジ取引 \*5: 2行合算、取得原価 \*6: 内部管理ベース、ヘッジ考慮後 \*7: 除く退職給付信託からの返還等66億円 \*8: その他有価証券評価差額金を除く \*9: 一部、BK+TBの資産に計上されている金額を含む、時価

# グループ会社別業績

(億円)

業務純益*1	FY23/3Q迄	FY24/3Q迄	前年同期比
BK単体	5,634	6,177	+543
TB単体	175	170	△4
SC (米国拠点合算ベース) *2	1,267	1,809	+542
AM-One*3	144	172	+27
持分法による投資損益	171	386	+215
その他	983	924	△59
<b>FG連結</b>	<b>8,376</b>	<b>9,642</b>	<b>+1,265</b>

## 四半期純利益\*1



## 四半期純利益\*1

	FY23/3Q迄	FY24/3Q迄	前年同期比
BK単体	4,338	6,013	+1,675
TB単体	202	235	+33
SC (米国拠点合算ベース) *2	1,031	1,269	+237
AM-One*3	96	114	+17
持分法による投資損益	171	386	+215
その他	583	534	△49
<b>FG連結</b>	<b>6,423</b>	<b>8,553</b>	<b>+ 2,130</b>

\*1: ETF関係損益等を含む。連結調整前の概数 \*2: 業務純益はSC連結計数に、SC連結対象会社でないMSUSA等の米国拠点の計数を単純合算したもの。四半期純利益は同米国拠点を含んだ社内管理ベースの計数。米国拠点の計数は業務純益1,029億円、四半期純利益753億円 \*3: 連結、のれん等償却を除く

# (参考) 日銀利上げによる財務影響

(億円、概数)

## 25年1月末までの 利上げによる影響

FY24  
+1,050 億円

FY25  
+2,250 億円

(FY24対比 +1,200 億円)

### 日銀政策金利

マイナス金利解除<sup>\*1</sup>

0.10%

追加利上げ

0.25%

追加利上げ

0.50%

24/3末 7月 1月 25/3末 26/3末

+10bps ○ +450

+15bps ○ +400

+25bps ○ +200

利上げ影響が  
通年にわたり発現

## 感応度 シミュレーション<sup>\*2</sup>

+25bps あたり 年間 +1,200 億円程度

\*1: 2024年3月19日、日本銀行は政策金利（誘導目標）を無担保コールレート（オーバーナイト物）：0~0.10%程度に決定

\*2: 一律金利上昇を前提とするリスクモニタリング上の試算。1年間の資金収支影響額

本資料には、事業戦略及び数値目標等の将来の見通しに関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の作成時点において、入手可能な情報並びに将来の不確実な要因に係る仮定に基づく当社の認識を反映したものであり、将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。

当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信、有価証券報告書、統合報告書、Form 20-F等、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。

## 組織の略称

FG :	みずほフィナンシャルグループ	RBC :	リテール・事業法人カンパニー
BK :	みずほ銀行	CIBC :	コーポレート&インベストメントバンキングカンパニー
TB :	みずほ信託銀行	GCIBC :	グローバルコーポレート&インベストメント バンキングカンパニー
SC :	みずほ証券	GMC :	グローバルマーケットカンパニー
MSUSA :	米国みずほ証券	AMC :	アセットマネジメントカンパニー
AM-One :	アセットマネジメントOne		

## 為替レート

### ■ 管理会計

計画レート	
USD/JPY	135.00
EUR/JPY	143.44

### ■ 財務会計（期末TTM）

	23/12末	24/3末	24/12末
USD/JPY	141.82	151.40	158.17
EUR/JPY	157.09	163.28	164.86

## 計数の定義

### 財務会計

<b>連結業務純益</b>	: 連結粗利益 – 経費（除く臨時処理分）+持分法による投資損益等連結調整
<b>ETF関係損益等</b>	: ETF関係損益（2行合算）+営業有価証券等損益（SC連結）
<b>経費（除く臨時処理分等）</b>	: 経費（除く臨時処理分）– のれん等償却
<b>経費率</b>	: 経費（除く臨時処理分等）÷（連結粗利益+ETF関係損益等）
<b>親会社株主純利益</b>	: 親会社株主に帰属する四半期純利益
<b>2行合算</b>	: BK単体+TB単体

### 管理会計

<b>顧客部門</b>	: RBC、CIBC、GCIBC、AMCの合計
<b>市場部門</b>	: GMC
<b>グループ合算</b>	: BK、TB、SC、及び主要子会社等の合算
<b>カンパニー別業務純益</b>	: 業務粗利益+ETF関係損益–経費（除く臨時処理分等）+持分法による投資損益 – のれん等償却